

# 大阪府立天王寺高等学校

## 令和4年度 第2回学校運営協議会 記録

日 時：令和4年11月26日（土）10：00～11：30

会 場：大阪府立天王寺高等学校 会議室

出席者：【委員】荒木 祐二、浮邊 亜紀子、貴志 泰正、山東 功、土肥 純平  
【事務局】西田 恵二（校長）、内堀 晴則（教頭）、石田 智恵（事務長）、  
井上 孝介（首席・SSH 主担）、川邊 茂樹（首席）、  
武井 節子（指導教諭・GLHS 担当）  
渡邊 和貴（書記）

### 1. 開会

教頭より配布資料の確認

### 2. 会長挨拶

制約がある中でもできる限りの行事を実施しているようで頼もしい。対応が大変かと思うが教員は健康にも留意して欲しい。

### 3. 校長挨拶

日々の支援に感謝している。新型コロナ第8波といわれている状況下だが、り患に大きな広がりはない。感染症対策は引き続き行っているが、学校行事（水泳訓練、文化展示発表会、修学旅行（北海道）など）は、順調にできている。林間学校は日帰りで実施した。GL、SSHにおいてコロナ前と遜色ない教育活動が行われている。

### 4. 協議

#### (1) 本年度学校経営計画の進捗状況について

天高スタンダードは生徒の状況を踏まえて今後も考えていく。授業評価の数値の高さは、生徒の力の表れ。前向きで努力する生徒に教員ものせられ高いレベルの授業が実現している。大阪サイエンスデイ第1部は本校で行った。天高IRとして、卒業生を含めて学校の教育的な取り組みがどのような進路に結びついたかを調査している。

#### (2) 資料説明

##### ・スクールミッション案の提出

学校の使命（ミッション）と学校の方針（ポリシー）を策定している。来年3月公表予定。

##### ・学校教育自己診断の結果について（昨年度との比較）

生徒分：「学校に行くのが楽しい」が増加

学校の清掃を主体的にしているのかという問いかけに変更した

保護者分：学校行事への参加について数値改善は、参加可能になる行事が増えたため

教職員分：大きな差異は見られない

・授業アンケートについて

アンケート評価3以上は肯定的な意見である。平均は3.57（昨年度3.52）。生徒はしっかりと準備をした状態で授業を受けてくれているのかなという印象。

・GLHSの取組について

役割はGL10校にかかわる活動の企画運営と、本校内生徒に係る外部イベントへの参加促進。今年度の研修は東京、福島を予定。エネルギー問題がテーマ。福島の技術面を丁寧に学ぶために17名という人数になった。ヘルシンキ国際高校から初めて生徒が来校する予定。

### **（3） 質疑応答及び意見交換**

委員：スクールミッションについて、数年変えなくてもよい汎用性のある文言にしてはどうか。GLHSの表記も含めて。

委員：スクールミッションについて、教育方針の3本柱はずっと続けて欲しい。

委員：3年が共通テストが迫っている中でも、体育やLHRで息抜きしながら楽しく過ごしている。授業第一主義で、教員をうまく使うよう家で話している。保護者は、学校に感謝している。

委員：たくさんのイベントや賞が増えているが、学校として増やすのか。

事務局：学校として取り組むものもあるが、個人で応募するように周知するようにしている。

委員：保護者アンケートで、「こどもの心身について相談しやすい」数値が少し下がっている。

事務局：「先生が忙しいから・・・」という記述がみられる。生徒が気を遣っているのかもしれない。

事務局：学校に相談しやすいと答えた生徒の意見は増えている。

委員：観点別評価についてルーブリック評価についてご教示ください。

事務局：到達目標を段階別に分けて表にしたもの。点数で示すよりは、段階別で評価を通して、全体の評価にしている。

委員：働き方改革について。欠席連絡や時間外の対応について。

事務局：Google Form やさくらメールを活用できないかと考えている。

委員：授業アンケートから読み取れるものはあるか。たとえば、新課程の「言語文化」などはどうか。

事務局：教科書と副読本を用いて、現状は問題なく進んでいる。

委員：新旧教育課程で文系生物が1単位減になっている。授業担当者はどう考えているのか。

事務局：減単位でも対応可能であると考えている。

委員：「総合英語の予習は毎時間課しているわけではない」、という記述は。

事務局：授業に関して今回は速読なので予習はなし、精読なので予習は必要というように、特に毎時間課しているわけではないということ。

委員：幅広い活動をされている学校と、教員に感謝。生徒アンケートをみると文武両道ができている生徒が82%と多い。自己評価が高いのか。

事務局：今が上がったというより、2年間低かったということだと思う。

委員：学校経営計画の「国公立大学進学者数」は現役、浪人合わせての数値？

事務局：既卒生を含んだ令和4年度の結果である。

委員：多いと感じる。公立高校に求めたいこと、教育にお金をかけられる家庭が限られている中で、毎

年高い数値になっている。

事務局：3年の3月まで学力が伸びるので、最後まで粘り強く頑張ろうという進路指導が結果につながっている。お金をかけずに学校で学ぶということは大切だと考えている。

委員：公立高校のあるべき姿である。授業アンケート問8、9平均の3.55は高いのか？

事務局：他校の平均値は不明。教員の授業改善に活用しているので他校と比較は特段していない。

委員：4校と携わっているが他校との数値の差は見られない。教育の保証、医学部などはお金をかけずには行けない。医学部受験までができるような学校づくりをこれからも目指してほしい。

## 5. 閉会

次回予定確認。1月21日(土)午前中に開催予定。